

地域人材ネット

限界集落と言われた過疎集落からの脱却

高野 誠鮮 (たかの じょうせん)

日蓮宗 妙法寺 住職



○ 登録者情報

所在地

石川県羽咋市

略歴

- ・元科学雑誌ライター、テレビ番組企画構成
- ・元地方公務員(羽咋市職員) 2016年定年退職
- ・元東北自治研修所講師(2019年度まで)
- ・元立正大学客員教授(2020年3月退官)
- ・元新潟経営大学特別客員教授(2020年3月退官)
- ・台湾農業行政院アドバイザー(2019年)
- ・毎日地方自治大賞(局長賞受賞)
- ・田村明まちづくり大賞受賞(地方自治学会)
- ・富山県氷見市地方創生アドバイザー(2017年度)
- ・千葉県鴨川市アドバイザー(2019年～現職)

著書・論文等

- 「自然栽培で地球を救っていく」(共著 ヒカルランド)
- 「ローマ法王に米を食べさせた男」(講談社)
- 「頭を下げない仕事術」(宝島社)
- 「日本農業再生論」(共著 講談社)
- 「UFO・ローマ法王そして自然栽培」(学研)
- その他

〇 限界集落と言われた過疎集落からの脱却

取組の内容

石川県羽咋市の限界集落と言われた中山間地域の神子原集落。ここのお米をローマ教皇に献上し、自活自立を促す集落で株式会社の設立によって、自らの直売所「榊神子の里」を設立し、移住者の定住や祭りの復興等を成し遂げた。榊神子の里は、売上凡そ1億円程度を誇るようになり、社長以下11名が働く場所となっている。その取り組みは、TBSドラマ「ナポレオンの村」のモデルとなった。

また、地元JAが農薬・肥料・除草剤を使わない自然栽培の指導し、米・野菜等の販路を海外にまで拡大させることになった。定期的に学校給食に、この自然栽培が供給されている。

計画書を描くより、実践する事を基調とした独自の戦術と手法を用いている。

招聘された地域では、講話のみならず具体的な現地での指導も行っている。

- ・地域ブランドの創出
- ・自活自立支援



北国新聞連載

実績

・限界集落といわれた神子原で起業した直売所「榊神子の里」の売り上げは、1億円となり、社長以下11名が勤務している「賑やかな過疎集落」となっている。新たな目玉となる商品開発にも着手し酒製造販売免許取得や酒造りまで、手掛けている。

工夫した点や苦勞した点

実践したことのない人が、地域に助言や企画書を提出しても何も変化しない。「やって見せて、次にしてらう」事によって変化させる事に力を注いできた。やる気から本気になれる人を創り上げる事に苦勞してきた。マイナス思考の人達は「失敗したらどうする」「誰が責任取る?」と必ず発言する。「成功するまで失敗し続けて下さい」と言い続けてきました。

ひとことPR

・何事も前例のない事は、やりたがりませんが、前例がないからこそチャレンジする価値はあります。先手必勝・進取の気性が求められます。地方創生、論議するだけでなく、実践してみませんか。その一歩を踏み出す手助けをさせていただきます。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

連絡先

メールアドレス	[アットマーク]		
---------	----------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。